

誰が一番遠くに飛ばせるかな？



## 下川沿地区で雪遊び

(2月5日)

下川沿地区で恒例の雪上レクリエーションが行われ、地区の子どもたちや保護者ら50人が多彩なゲームを楽しみました。

会場の下川沿中学校グラウンドでは、子どもたちがタイヤチューブ滑りや雪中ドッチボール、長靴飛ばしなどを楽しみ、周りからは「ガンバレ」の声援や拍手が送られていました。



こっちにも投げて(八幡神社)

## 威勢良く「福は内」(2月3日)

節分の3日、市内各地で豆まきが行われました。

大館八幡神社では、氏子らで組織する大館八幡会金澤宏会長が主催し毎年行われていて、今年で37回目。数え年で42歳となる年男や会員などが「かみしも姿」になり、境内に集まった八幡幼稚園の園児や住民らに向け「福は内、福は内」と威勢良く豆をまきました。神事で鬼を追い払った福豆をまくことから「鬼は外」の掛け声は無く「福は内」だけ。次々と放り投げられる豆を園児らは夢中で拾い、両手いっぱい縁起の良い豆を持って喜んでいました。



とても古いお人形だね

## おひなさま展

(2月12日)



今年も豊作になるべか

## 雪中田植えで豊作祈願

(2月11日)

比内町中野の高齢者センターで、地区に伝わる小正月行事「雪中田植え」が行われました。

地区の皆さんが見守る中、菅笠に「みの」を着用した立石一さんと阿部調一郎さんが、しめ縄を張った雪の田んぼに稲わらと豆殻を植え、豊作を祈願しました。

郷土博物館では、毎年恒例の「おひなさま展」が開かれています。開催は3月21日まで。会場には、市内各所から集まった段飾りのおひなさま十数組のほか、明治や大正時代の享保雛や押絵雛などが多数飾られ、訪れた人達の目を楽しませています。市内外からたくさんの方々が訪れ、鮮やかで繊細に作られた時代ごとのおひなさまを熱心に鑑賞していました。



金賞おめでとう！

## 全日本アンサンブルコンテスト東北大会で扇田小学校が金賞

(2月13日)

扇田小学校マーチングバンド部が、山形県酒田市民会館で行われた「全日本アンサンブルコンテスト」第38回東北大会に県代表で出場し、市内の小

学校で初となる金賞を受賞しました。出場した5人は、大観衆の前で見事な演奏を披露。審査結果が発表されると、満面の笑みを浮かべて受賞の喜びを分かち合っていました。



自髭大神とおごうの巡行

## 大館アメッコ市

(2月12・13日)

この日にアメを食べると風邪をひかないと伝えられる冬の風物詩「大館アメッコ市」が開かれ、2日間11万5千人が訪れました。

今年は天候に恵まれ、主会場のおまち八子公通りでは、大勢のお客さんが色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通して、風邪封じのアメを買い求めていました。会場では、からめアメのサービスや枝アメ作り体験コーナーのほか、白髭大神巡行、秋田犬パレードなどが行われ、アメッコ市に花を添えました。